

入学おめでとう!

学校だより

千載一遇

第1号
松城中学校
発行 山里 望



令和二年度 始動?

いよいよ令和最初の年度が始まりました。新入生の皆さん! 「ご入学おめでとうございます」とは言っても入学式がまだ執り行われていない中ですが、令和最初で、記念すべき松城中学校第40期生六一名が令和2年4月1日付けで松城中学校生徒として入学したことはとてもめでたいことで、全ての在校生、全教職員で新入生を心から歓迎します。

心待ちにしていた入学式だと思えますが、この感染拡大防止の取り組みを乗り越えて、心を込めてまた、歓迎の意味を込めて盛大に入学式を行いますので今しばらくお待ち下さい。

入学のあいさつと 学校の様子

新入生、保護者の皆さんいかがお過ごしですか? 前代未聞の社会状況の中で不安を抱きながら毎日をお過ごしのことと思います。それでも時間は進み、希望をもって前を見ながら進んでいくこと、それが私たちが力を合わせて出来ることだと感じております。

私は松城中学校の校長 山里望(やまざとのぞむ)と申します。この一年、皆で手を取り合います。素晴らしい時間を過ごしていきます。

入学のあいさつとしては不相应な言葉で始まりましたが、前を向いて学校に馴染んでもらえるようお願いしたいと思います。

まず、松城中学校の様子から

全校生徒220名、職員25名那霸市内で二番目に小さな学校です。松川小、城西小、識名小の3校から本校へ進学してきます。生徒はとても仲が良く、集中することで大きな集団の力を発揮し学校生活を楽しんでいる様子が見られます。部活動は野球、バスケット、バレー、バドミントン、サッカー、吹奏楽があり、熱心に取り組んでいます。また、生徒会活動も盛んで校内の行事やボランティア活動など様々な場所でリーダーシップを発揮し、生徒全体の活動を支えています。

先生方も明るく元気で、接しやすい雰囲気です。生徒を支援し活動を応援しています。

学校の教育目標は、令和2年度より新しくなり「自ら考え、人間性を研ぎ、創造性豊で、力強く生きる生徒」と掲げ、生徒の将来へ向けた大きな期待を表しています。そして、開校当時から校訓として「希望(のぞみ)・力・光」として、「自分の希望を叶えるために日々努力して力を蓄え、将来に光り(夢実現)を掴んで欲しい」との願いが込められています。この3つの言葉は校歌の歌詞にも挿入されていますのですぐに覚えることが出来ると思います。



中学校生活では「尊敬・尊重」「協働・共有」をキーワードに皆さんが社会で役立てるために身につけなければならぬ学習が、授業や部活動など様々な場面で取り組まれています。どのキーワードも自ら気づいて、行動を促すキーワードとなっています。そして、自分がどうすべきか、どうあるべきかを考えることが求められます。このことは皆さんが大人になっても考え続けることになると思います。



しかし、心配することはありません。実は日々の学校生活の中での人との関わり方、なかでも友達や先輩とのつきあいを素直に一生懸命、工夫する過程で皆さんは多くの事を体験しながら学んでいくのです。自ら進んで互いに関わることが適切な人間関係を築いていくことに繋がります。

適切な人間関係を築いて、悩みを共有しながら将来の夢や希望が叶えられるように取り組んでいきましょう。

保護者の皆様、お子様の成長とともに保護者の皆様も一緒に成長していく事となります。子ども達は思春期を迎え親離れや自立に向けた行動が多く見えるようになります。思いも寄らない言動や行動に戸惑うこともあるかと思いますが、成長段階の適応行動と認識し、子どもたちを尊重しながら学校と手を取り合い共にお子様の成長を見守って参りましょう。

